

# お子様がどんな使い方をしているかご存知ですか？

—平成28年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 より—

内閣府が3月30日に発表した「平成28年度 青少年\*のインターネット利用環境実態調査」の内容を簡単にまとめて、お伝えいたします。

\*青少年…満10歳～満17歳

## 1) 青少年のインターネットの利用率は80.2%

インターネット利用率は80.2%（小学生：61.8%、中学生：82.2%、高校生：96.6%）

## 2) 一番インターネットを利用する機器はスマホ(47.2%)

インターネットの利用機器はスマートフォンが47.2%でトップ、以下、携帯ゲーム機(21.7%)、タブレット(20.9%)、ノートパソコン(17.3%)が上位となっています。

特にスマートフォン保有率は、小学生ではH26年の17.1%から27.0%、中学生では41.9%から51.7%とそれぞれ10ポイント近く増加しており、高校生になると94.8%と、ほとんどの高校生が保有しています。



※インターネットに接続できる機器は身近にいろいろとあります。SNS（ソーシャル・ネットワークワーキング・システム）や掲示板、ゲームやアプリでの課金など、保護者の方々が気づいていない使い方をしていませんか？

## 3) インターネット利用時間は1日約2時間半(154.3分)

1日の平均利用時間は154.3分（小学生：93.4分、中学生：138.3分、高校生：207.3分）で、年齢が上がるにつれて長時間になる傾向があります。特に高校生では5時間以上が20.5%、また高校生におけるスマートフォンでのインターネット利用時間は、2時間以上が72.1%を占めます。

利用内容について特に高いものは、以下の通りになります。

(小学生) ゲーム…78.1%、動画視聴…60.5%

(中学生) 動画視聴…74.0%、ゲーム…72.8%、**コミュニケーション…67.2%**

(高校生) **コミュニケーション…90.6%**、動画視聴…84.1%、音楽視聴…82.8%

コミュニケーションは、小学生では32.5%ですが、中学生では67.2%と一気に増加、さらに高校生では90.6%に達します。



## ○保護者の取り組みについて

保護者の約8割(82.9%)が、青少年のスマートフォン利用に関する何らかの取組を行っており、特に「フィルタリングを使用している」(44.6%)、「子どものネット利用状況を把握」(34.2%)が多くなっています。

また約4分の1の保護者(26.6%)が「利用時間等のルールを決めている」と回答しており、前年度より4.4ポイント増、一昨年度より8.8%ポイントとなっています。しかしその一方で、「家庭のルールを決めている」ことに対して、**子どもたちと保護者の認識のギャップ**が以下のようにあります。



◇「インターネットの利用についてルールを決めている」

- ・小学生：77.9% ⇔ 小学生の保護者：89.6% (その差 11.7ポイント)
- ・中学生：69.5% ⇔ 中学生の保護者：85.6% (その差 16.1ポイント)
- ・高校生：51.8% ⇔ 高校生の保護者：70.8% (その他 19.0ポイント)

※何のために必要なのか、どのように使うのかなど、お子様と話し合い、適切なインターネットの利用を促しましょう。

<出典>

- ・内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」

[http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/net-jittai\\_list.html](http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/net-jittai_list.html)

- ・内閣府「ネットの危険からお子様を守るために、保護者ができること」(保護者向けリーフレット)

<http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/koho/index.htm>

福井県では、青少年のネット非行・被害に関する情報の配信事業を実施しています。

「家庭の日」推進テーマ4月「木や草花を大切にし、美しい花を咲かせよう」

「青少年育成の日」推進テーマ4月「近隣との会話を増やし、楽しい地域を築こう」

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 角田

☎:0776-20-0745 (直通) メール: h-kakuda-um@pref.fukui.lg.jp